

ふらたなす

第 47 号

天使大学同窓会

編集発行  
天使大学同窓会事務局  
〒065-0013  
札幌市東区北13条東3丁目1番地30  
電話/FAX 011-712-1088  
天使大学同窓会ホームページアドレス  
<http://www.tensi-dousoukai.org>  
年一回発行

平成23年12月末現在、同窓生会員総数9,125人

## 「地の塩 世の光」



小樽サロンマンドリーノ（平成23年度懇親会）



玄関内のマリア像



平成23年度懇親会



十勝支部の活動（男の料理教室）

# 同窓会会長に就任して



同窓会会長  
衛生看護科二十三回生

稻葉佳江

この度、母校の同窓会会長という重責を担うことになり、身の引き締まる思いとともに同窓会の発展に微力ながら貢献する決意でおります。

天使大学同窓会会員は、戦後まもなく開学した札幌天使女子厚生専門学校の卒業生を筆頭に、現在の天使大学栄養看護学部及び大学院の卒業生約九千五百名を数えます。これらの同窓生の代表である同窓会理事会では、同窓生が社会で活躍するためのニーズや期待に応えること、在学

動する社会の中で継続的に発展するために、「これからの大大学」に進化することが求められています。ある著名な方が「伝統は創造の歴史である」といわれたように、母校の伝統もまた時代の息吹を吸収しながら変化・発展するよう、これまで以上に天使大学の理事長、学長と連携し、同窓会としての活動を活発にしたいと考えております。

さて、今期の同窓会理事会では、大きく三つの事項に取り組む計画です。一つめは、在学生に対する奨学金貸与制度の強化です。北海道の経済事情を鑑み、これまでの奨学金貸与制度の拡大を図ることで母校を支援することです。現在、奨学金検討委員会を立ち上げ、検討中です。二つめは、約九千五百名の所属する同窓会としての事務管理体制の整備です。大学化したのち、一気に同窓生が増加しております。特に、多額な同窓会費をお預かりする責任上、会計管理を主に事務体制を整えたいと考えております。三つめは、前記会

動する社会の中で継続的に発展するためには、「これからの大大学」に進化することが求められています。ある著名な方が「伝統は創造の歴史である」といわれたように、母校の伝統もまた時代の息吹を吸収しながら変化・発展するよう、これまで以上に天使大学の理事長、学長と連携し、同窓会としての活動を活発にしたいと考えております。

このほか、支部との連携や事業部活動の強化等を図りたいと考えております。これらの検討事項は、今後の同窓会総会に提議していく予定です。

今後も同窓生の皆さまのご協力をかけて、同窓会活動の自律・強化をお願い申し上げます。



# 「社会とつながる」

## 天使大学のあり方



天使大学学長

丸山知子

二〇一一年は、三月十一日の東日本大震災によって日本は大きな打撃を受け、今もまだ津波の恐怖と原発の見えない恐怖が被災地の皆様の気持ちを覆っていると思います。毎日報道されるニュースによる被災地の方々の状況は、涙なしには見ることができませんでした。しかし、月日の経過とともに記事やニュースは少なくなり、復興が進んでいる記事をとおして、被災地から離れている私達は次第に過去の出来事として記憶が薄れていくことに気づかれます。現実は復興の日途がたたないため、

二〇一一年は、三月十一日の東日本大震災によって日本は大きな打撃を受け、今もまだ津波の恐怖と原発の見えない恐怖が被災地の皆様の気持ちを覆っていると思います。毎日報道されるニュースによる被災地の方々の状況は、涙なしには見ることできませんでした。しかし、月日の経過とともに記事やニュースは少

くなくなり、復興が進んでいる記事をとおして、被災地から離れている私達は次第に過去の出来事として記憶が薄れていくことに気づかれます。現実は復興の日途がたたないため、継続するための活動を始めています。

募金活動では、同窓生の方々にもご協力を頂き、心から感謝しております。ホームページに掲載していますので、ぜひご覧頂きたいと思います。この活動をおして、学生の震災に対する関心も薄れないようきめ細かな情報提供や活動案内をしております。また、この大震災では、生命、人とのつながり、家族、生活等、普段余り気にすることなく過ごしている「あたり前のこと」が「生きる」ためにどれだけ大切なことであったかを強く感じ、考えさせられることになりました。

大学の存在は社会の変化と密接に関連し、その期待に対応できることが発展につながると考えます。従つて、今回の震災で本学は何が出来たかを考え、震災支援プロジェクトを立ち上げました。そして、教職員をとおして真理へ」を具現する一つの行動であると考えます。本学の創立者のシスター達の精神と行動を思い起こし、未来を継ぐ看護職、栄養士の職業人育成教育を時代に沿った考え方で継承していくことが必要だと考えます。そして、学生が「眞の

現実を誇りに感じ、社会で活躍する職業人に成長してほしいと願っています。

現在、栄養学科と看護学科三年の自主メンバーによる「両親へ贈るレシピ集」を制作しております。講義や実習の合間の活動であり、学科を越えた連携はなかなか難しいのですが、三月までに完成したいと頑張っておりますので、完成しましたらご連絡させて頂きます。同窓会は大学と車の両輪ですので、相互連携の絆を強くし、後輩育成のために力を頂ければうれしく思います。また、大學は厳しい大学間競争の中にあり、本学の伝統に甘んじることなく、地域に密着した大学としての存在意義を明確にし、発展を目指したいと考えております。同窓会の皆様方には、社会の目で客観的にご批判、ご提言を頂きたいと思います。最後になりますが、同窓会のご発展をお祈りしております。

# 同窓生の皆様へ



学校法人天使学園 理事長

近藤潤子

天使学園にいつも変わらぬ暖かいご支援をいただきまして有難うございます。

本年は、一九四七年マリアの宣教者フランシスコ修道会による本学園の創設以来六十五年を迎える次の七十周年へ、また、二〇〇〇年の大学への改組転換から十二年が経過し、次の二十周年へのステップを考える大切な時期となりました。

多くの大学の増設が急速に進行する中で、本学は先輩が築いてくださった歴史と伝統のうえに、看護栄養学部看護学科、栄養学科とともに今までと変わらぬ志願者を得て順調に運ん

でいます。大学院助産研究科、看護栄養学研究科は学生確保の課題はあります。ですが卒業生方々のご参加を待ちつつ、それぞれ教育や研究の内容の充実に努力しています。助産研究科の修了者は二〇一一年度で百七十八名、開設以来の卒業者の合計は九千七百三十三名になりました。

看護学科学士課程に看護師養成課程に統合として置かれていた保健師養成課程が制度の改正により大学院看護栄養学研究科に専門職業人養成課程として開設されるようになります。

これから保健医療制度の動向を

視野に、本年から天使大学の未来を構想し夢を実現すべく、天使学園の将来構想計画に取り組み、中長期計画案の策定にあたっています。

天使大学の使命は開設以来「カトリック精神に基づく『愛をとして真理へ』を建学の精神とし、人間の尊厳を重んじ、キリストの愛に倣って人々に仕える人間性の陶冶、高度な実践力を持つ（専門）職業人の育成」であります。

この使命の実現のために、この使命に基づく特色ある研究・教育・連携・経営の小委員会を構成して理事、教職員が協同で、それぞれ熱心に取り組んでいます。

増設が続く日本の各大学は、さまざまな手段を講じて学生の確保に奔走していますが、その競争を生き抜く本学の姿勢は、本来の教育の目的である高い実践力、人間性の陶冶など、魅力ある教育によって、選ばれる大学でありたいと念願しています。

これからの学習条件を整え、環境を整え校舎の増改築、教材の整備、さらに、実践家の育成を目指す学習には実習が不可欠ですから実習場の確保と整備も重要課題となっています。

同じ系列の私学とほぼ同額にしていますが私学の経営は、学納金依存度が高く、授業料が高いことが応募者の陥路となっていますので奨学金を拡充することも喫緊の課題であります。

には正課外の教育すなわち修養会、チャペルアワー、アッセンブリーアワー（大学に設けられている一週一度全学同じ時間に設けられた時間、聖書の学習やキリスト教的人間観育こと）の学習など正課外に設けられている教育活動も正課の学習と同じように重要であり、これによって天使化された職業人が誕生していくまです。同窓生の皆様が経験されたことと思います。

度全学同じ時間に設けられた時間、聖書の学習やキリスト教的人間観育こと）の学習など正課外に設けられている教育活動も正課の学習と同じように重要であり、これによって天使化された職業人が誕生していくまです。同窓生の皆様が経験されたことと思います。

度全学同じ時間に設けられた時間、聖書の学習やキリスト教的人間観育こと）の学習など正課外に設けられている教育活動も正課の学習と同じように重要であり、これによって天使化された職業人が誕生していくまです。同窓生の皆様が経験されたことと思います。

度全学同じ時間に設けられた時間、聖書の学習やキリスト教的人間観育こと）の学習など正課外に設けられている教育活動も正課の学習と同じように重要であり、これによって天使化された職業人が誕生していくまです。同窓生の皆様が経験されたことと思います。

## 副会長として 二期目に入りました

### 《新しい体制を経験して》

一期目は、選挙制度や理事体制を導入、新生同窓会の出発でした。

同窓会員も九千人を超え、大所帯になっています。同窓会の目的や使命、あり方、健全な運営など考えながら思考錯誤した三年間でしたが、円滑な運営、また前進できたとは言い切れません。

しかし、仕事量の多さに戸惑いながら、皆一生懸命勤めた時期でもありました。

### 《これから同窓会》

今は、前期の宿題を解決し、同窓会の組織力・機動力を充実させ、次へと繋げていきたいと考えています。昨年の大震災の翌日(三月十二日)、同窓会宛にメールが二通きました。二通とも被災した会員から「助けてください」という懇願の内容でした。直ぐには、動けず何も出来ない(もちろん何も分からぬ状況でした)中で、「大変でしょう。今は私たちも動けません。思いは十分受け止めた……」そんな旨の返事をすることで精一杯でした。

支部の組織(現状としては、縮小

天使大学同窓会 副会長  
栄養科二十二回生

野原純子

している)を充実させることで、今よりもっともっと裾野が広がり、支援活動の拡大や、逆に北海道外・日本・もしかしたら海外で活躍している同窓生の力を得ることができるのではと考えています。

## 各委員会から

会計理事  
栄養科十七回生

宮本八重子

平成二十三年度総会の役員改選により二十三年度から三年間同窓会理事を、そして厚生科二十回生・専攻科六回生の川村紀美子さんとともに会計担当理事を引き受けさせていただきました。

総会議案書にてご確認いただけたと思いますが、同窓会会計は入会金と卒業会員様からの維持会費による一般会計、前受金(入会金)特別会計、事業積立金、同窓会奨学金と多科目勘定によって同窓会事業収支を管理いたします。

二十三年度からの同窓会会計については前年度役員城会長及び遠藤会計理事の適切な会計処理を引き継ぎ、精一杯努めたいとは意気込んでいましたが、正直半年以上経過した現状は課題の山積みで、現状の奉仕による同窓会事務会計は限界では、を痛切

に感じています。

例えは会員皆様から送金いただく貴重な維持会費は、維持会費管理簿及びP.C.を駆使しての適切・正確な収支管理が必要不可欠と考えています。今年度事業の重点目標に会計特に維持会費の見直しが課題として掲げられ理事会そして総会にて議題審議されることと存じます。

会員皆様のご理解とご協力をお願ひいたします。

庶務理事  
栄養科二十八回生

本間裕子

同窓会事務局の組織が『理事』体制となつて、二期目に入りました。新会則・細則を手元に手探り状態で進めた第一期。その三年間の良い点・改善すべき点を考えながらまとめていくのが、二期目の仕事なのだろうかと感じているところです。同窓会のそんな大事な変化のときに、私のような者が関わってしまって良かったのかと自問するばかりです。

『庶務』の仕事は、表に出ないようことが多いのかもしれません。でも、それこそ学生時代に教え込まれた天使精神を、大いに發揮できる場所もあります。『縁の下の力持ち』、庶務にぴったりの言葉だと思っていますが、如何せん、担当理事の力が足りず、土台を安定させること

ができない状態です。

会長・副会長・他の理事の方々、そして栄養三十一年期・板垣美由紀さん、栄養二十二期・池田寿子さんの庶務委員のお二方に助けて頂きながら、持ち前の明るさで、少しでも同窓会の発展にお役にたてるよう、この三年間も頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

研修部理事  
栄養科十八回生

西尾久美子

平成二十三年度から稲葉会長のもと研修部理事を担当し、三年間同窓会の運営に関わらせていただきます。私の同窓会の関わりといえば、時々総会に出席する程度であり、理事や代議員のご苦労に思いを巡らすことなどありませんでした。そんな状況で研修部の理事という役目を引き受けましたが、研修委員の看護学科三十三回生の稻毛由美子さん、佐々木江理さんと三名で協力し講演会の企画など同窓生の皆様に少しでもお役にたてるような内容で準備したいと考えております。

同窓会の仕事に関わるようになり、たびたび大学を訪れ後輩達の若々しい姿を見、短大から大学に改組転換し、大学院の開設など母校が社会のニーズに答え、伝統を守りながらも専門職の養成を成し遂发展していく

様子が見て取れます。場所は同じくしながらも以前とは大きく様変わりした校舎が建ち、わずかに一部の教室、廊下から昔の面影が感じ取れるだけになってしましました。

そんな母校も現代の激動社会の中で変わらざるをえない状況もあり、将来にわたり天使大学がここにあり、多くの同窓生が時代の変化に対応しながら変わりゆく大学の姿を見守つていかなければならぬと思います。同窓会の活動にも関心を持っていたいから、四月に開催される総会では多くの方々の参加をお待ちいたしております。活発な同窓会活動が母校の発展に寄与するものと思います。今後三年間、微力ながらお手伝いさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

福祉部委員  
栄養科三十一回生

### 河崎 砂智子

今年度は、天使祭のバザーを含め、六回の活動をしました。毎回「タキさんの店」のケーキを楽しみに待つてくれる学生さん。新メニューの「りんごのケーキ」や「ロールケーキ」は大好評です。又、販売後の昼食時は、料理のコツ、おかずのレシピ、洋裁、パッチワーク、あみ物等々の会話に花が咲き、知恵袋がいっぱいです。



支援会員さんと

事業部理事  
栄養科二十二回生

### 渋谷 みえ子

この度、同窓会事業部理事をお引き受けすることになりました。卒業して四十年、同窓会には大きくかかわる事なく過してまいりましたので、「はたして私に務まるのか?」という思いがありました。しかし、理事会や奨学金検討委員会に出席する中

軸はブレずに進化しつづける「タキさんの店」。同窓生の皆様、看栄を問わず活動していますので、一度と言わず二度三度いらしてみて下さい。

で、同窓会の組織・運営が少しずつ判るようになってきました。事業部として、新しい奨学金制度の新設にあたり、検討の最中です。会長はじめ、理事の方々と協力して「同窓会」が会員一人一人にもっと身近なものとして受け入れていただくよう、その一員として今出来る事を精一杯努力してまいります。宜しくお願い申し上げます。

広報理事  
厚生科十三回生

### 仙庭ミナ

今年度の総会に於いて選出されまして、広報担当理事として同窓会活動の一環をお手伝いする事になりました。

平成二十年四月から平成二十三年三月末日までの三年間、新しい同窓会規約のもと広報担当として右も左も判らないまま右往左往しての三年間を過ごし、ようやくお役御免になりました。

この度、同窓会事業部理事をお引き受けすることになりました。卒業して四十年、同窓会には大きくかかわる事なく過してまいりましたので、「はたして私に務まるのか?」という思いがありました。しかし、理事会や奨学金検討委員会に出席する中

る事に力を得たからです。微力ながら少しでも進歩した活動が出来るよう心して取り組みたいと思っております。広報委員会の活動と共に、西村和美さん、前期から引きつき委員さんの岡島さおりさん共々協力して同窓会活動を担つていけると良いなと思っております。広報の一一番の活動目標は、同窓会の活動状況を会員の皆様にお伝えする事だと思つております。この活動の中心は広報誌ぶらたなすの定期発行だと思つております。少しでも同窓会活動の様子を会員の皆様にお伝えできる見やすい広報誌の発行に力を入れていきたいと思っておりますので、会員の皆様のご協力を願いいたします。広報誌の感想やご意見ご希望などお寄せ頂けると幸いです。

### 広報委員会からのお願い

同窓会広報誌「ぶらたなす」では、会員の皆様から情報を寄せて頂きたいと願っています。受賞の情報・お悔やみのお知らせ・活躍される同窓会員の情報などお伝えしたい情報が有りました。お寄せ頂いた情報については、同窓会広報の方で取材させて頂き「ぶらたなす」に掲載させていただきます。

尚、連絡方法は同窓会あてのメールアドレス・電話・FAXでお願いします。

\*卒業生の学科名は平成16年発行の同窓会会員名簿の表記に合わせました。

# 監事から

監事  
専攻科三回生・厚生科十七回生

栄養科十五回生  
城 遠 藤 徳 子 直

同窓会の組織改正後の二期目をむかえ、この度監事に選任されました。前期では、それぞれ会長・会計担当理事の任を担っておりました。三年間の任期で、同窓会の多額の財産を管理する責任の重さを感じた次第です。

それぞれ、経理に関する専門的な知識があるわけでなく、家計簿がつけられる程度の状況でした。公認会計士さんの指導を受けながら、簿記の基礎から決算手続きまでを、悪戦苦闘し学んだ日々でした。

いつの時代も、組織の会計にまつわる不祥事のニュースがマスコミに取り上げられております。同窓会組織の内部会計監査とはいえ、(一) 同窓会の財産(一般会計・維持会費収入・特別会計一奨学金・特別会計二同窓会入会の前受金)等の出納が適正に処理されているか。又、その裏付けとなる(二) 各銀行預金口座・各会計ごとの帳簿記載及び領收証の記載等が適正に処理されているか等を、外部者のような視点を持って、三年間務めて行こうと思っております。

## 報 告

# 「東日本大震災義援金」について

被災された皆さま方の1日も早い復興をお祈りしています。

昨年の4月、天使大学同窓会は「東日本大震災義援金」の一部として、NHKを通して被災地に寄付をさせていただきました。

**義援金：1,342,022円**

ご協力ありがとうございました。

## 第2期 代議員名簿

(任期2011年4月～2014年3月まで)

ブロック	対象卒期	卒期	氏名	ブロック	対象卒期	卒期	氏名
厚・看①	厚生科1回生～10回生	9	川端 敏子	栄養⑧	栄養科36回生～39回生	38	三上 妙子
厚・看②	厚生科11回生～17回生	14	若井貴久子			38	駒井 優子
厚・看③	厚生科18回生～衛生看護科23回生	23	伊原 晶子	栄養⑨	栄養科40回生～43回生	40	川口 妙子
厚・看④	衛生看護科24回生～28回生	28	松前 範子			41	吉田 圭子
厚・看⑤	衛生看護科29回生～33回生	29	田口真佐子	栄養⑩	栄養科44回生～47回生	44	斉藤 茂子
厚・看⑥	衛生看護科34回生～38回生	38	浅野 丈子			45	中座千恵子
厚・看⑦	衛生看護科39回生～43回生	42	竹林 美和	栄養⑪	栄養科48回生～51回生	48	宮下あずさ
厚・看⑧	衛生看護科44回生～47回生	46	守屋予史季			50	木下 裕子
厚・看⑨	衛生看護科48回生～51回生	51	横山 佳世	助・専①	助産学校1回生～専攻科4回生	1	辻川 一枝
厚・看⑩	衛生看護科52回生～53回生	53	高橋 純子	助・専②	専攻科5回生～13回生	13	今崎 裕子
栄養①	栄養科1回生～9回生	4 7	原 美智子 金子志和子	助・専③	専攻科14回生～22回生	17	羽田 千春
栄養②	栄養科10回生～15回生	11 15	古川 淳子 山際 瞳子	助・専④	専攻科23回生～30回生	28	岩本 佳奈
栄養③	栄養科16回生～19回生	17 18	小板 知子 伊達 和恵	助・専⑤	専攻科31回生～38回生	35	辰巳みちる
栄養④	栄養科20回生～23回生	23 23	秋山 文子 村上加代子	大学①	2003年度(2004年3月卒業)	栄1	濱田久美子
栄養⑤	栄養科24回生～27回生	24 25	青野 尚子 田中 昌代	大学②	2004年度(2005年3月卒業)	看2	中田 慶子
栄養⑥	栄養科28回生～31回生	29 29	三羽 淑恵 山口由紀子	大学③	2005年度(2006年3月卒業)	栄3	権城 泉
栄養⑦	栄養科32回生～35回生	34 35	相内 和美 下山 香名	大学④	2006年度(2007年3月卒業)	看4	伊藤 瞳
				大学⑤	2007年度(2008年3月卒業)	栄5	阿部紗智恵
				大学⑥	2008年度(2009年3月卒業)	看6	内村 彩華
				大学⑦	2009年度(2010年3月卒業)	栄7	岩崎絵梨花
				大学⑧	2010年度(2011年3月卒業)	看8	菅原妃香理

# 各地で活躍する同窓生

## 管理栄養士の専門性を問われる時代

栄養科三十二回生

佐藤 敦子

二〇一一年三月十一日。その日は私たち日本人にとって忘れ得ぬ日になってしまった。東日本大震災の発生。私の行政栄養士としての経験の中でも、大きな意味を成す。大震災から約十日後、道庁から職場である帯広保健所に北海道の保健所管理栄養士として初めての公的災害派遣の要請があった。背景には、厚生労働省から各都道府県に対し初の管理栄養士派遣要請があり、全国的にも保健所管理栄養士を派遣したところが多かった。我が職場でも派遣を検討し、本庁の依頼を承諾。派遣先は、当初予定されていた宮城県から福島県に変更となつたが、公衆衛生班第一班として四月五日～十二日まで支援活動を行うことになった。出发までの間に、持参物品や防災服などの調達、配付資料の用意は勿論のこと、災害時支援や放射能に関する情報も入手。被災県として既に災害時活動

の実績がある兵庫県や新潟県、石川県などの保健所管理栄養士の活動を参考に、手探りながら準備を進めた。

四月五日、札幌から公衆衛生班四名（保健所医師、歯科衛生士、管理栄養士、事務職）は一日がかりで福島県郡山市に向か公用車で出発。六日には福島市に先発派遣されている除染班から放射能の除染と線量計の測定について、説明を聞く。翌七日朝、派遣先となる郡山市の大規模避難所ビックパレットふくしまに到着。郡山市はライフラインが復旧し、報道されているような瓦礫にうずもれた状況ではなかった。しかし、月寒ドーム規模の館内には人がびっしりと寝泊まりし、

歯科医師と一緒に栄養指導を要する方の情報確認も含め、個別に体調を聞き取っていった。ラウンドでは、被災者から避難せざるをえないストレスや集団生活でのメンタル面の苦情、避難所の食事への要望など、これまでの日常生活とのギャップに苦しむ様々な声を聞いた。そのような状況下、管理栄養士としてできるだけ避難所の食事改善を進める必要性を強く感じ、それまで栄養士不在であった避難所

の協力を進める必要性を感じた。これまで栄養士不在であった避難所の協力に支えられ実現することができた。今回の公的支援活動は、避難所という非日常の中、支援活動の実績がある保健師や看護師とは違い、保健所管理栄養士に何ができるのか、自分たちの具体的な役割は何かを摸索することでもあった。この得難い体験を多くの栄養士仲間に伝えたいと思う。

そして、東日本大震災で被災されました方々に対し心よりお見舞い申し上げます。



北海道の公衆衛生班と健康相談班（保健師2名）+避難所の救護所担当保健師の皆さん、県中保健所保健師さん（筆者前列中央）

## 再就職を支えるもの

栄養科三十二回生

永田 摩貴  
(旧姓 宮田)

今年も後輩達が実習に臨み、五日間、母校の懐かしい話に花が咲きました。  
「何故、再就職したのですか？」  
「再就職し大変だったことがありますか？」

「管理栄養士としての誇りはどんな時に感じますか?」と、ついに我が家が子より若い年代になった学生達から矢継ぎ早に尋ねられました。子育て中に取得した資格を活用したいと考えたのが、再就職の切っ掛けです。就職担当教官へ四十歳半ばで採用があるものかご相談したところ、即、募集情報が届きました。OGが築き上げた大学の信用度の高さ、資格の価値を学生に話し、国家試験合格は必須と激励に変えました。

十七年ぶりの復帰に困惑した事は、勤務間もなく導入された栄養ケア・マネジメント加算です。高齢者施設ならば…との思いつきはブランクな



「管理栄養士としての誇りはどんな年に追われながらもベースができる頃、対象者が把握でき他部署との連携も図ってきた覚えがあります。

「再就職しタイヘンだった事」が、今も継続している基盤のようです。

「管理栄養士の誇り」については、答えに詰まり保留しました。胸を張った仕事振りだろうか? と考えたのです。学生実習終了後、参加した全日本の管理栄養士が集うセミナーでは、震災を受けた宮城県施設の講演が設けられていました。直接、同職種から伝えられた被害の様子は想像を越え、話す内容は、ほんの一部に過ぎないと推察できました。

津波に厨房含む一階フロア全てを流された状況を語る中に「やっとコソロと会議用デスクが揃い、いざ、配膳となつた時に高齢者百三十名全員の食形態を把握していたのは管理栄養士でした。」とありました。

「誇り」に気がつき、着手すべき課題をみつけ帰郷したのです。後日、実習ノートを受け取りに訪れた学生達

この度、東日本大震災で被災された方々に、心よりお見舞いを申し上げます。という私も、姉が茨城で被災し、しばらく避難してきていたこともあります。本当に他人事ではなく、心が痛みます。実際、茨城にも行きましたが、あちらこちらで壊れたり倒れたりした建物があり、茨城でもかなりの被害なのに、津波被害の大きかった地域ではさらにひどいことでしょう、と言葉を失うほどでした。

私たちと同じ訪問看護師も訪問中には被害にあり、利用者様を二階に助けあげて、自分は津波にのみこまれて亡くなってしまったという話も聞きました。

私たち訪問看護師は、在宅で療養



難病と闘い在宅療養中の患者様、主治医とともに。  
(誌面への掲載について承諾を得ております。)

に、三つ目の質問に回答できました。短大卒業後、結婚退職までの四年間しか勤務経験のない者が、八年目を迎えます。これには、もうひとつ大切な秘訣があります。

諸先輩から送られる応援メッセージ、年賀状が新たなる歩を踏み出すエネルギー源なのです。どうぞ後輩の活躍ぶり? をご覧になり玉葱畑の中の施設へお越しください。

に、三つ目の質問に回答できました。私は平成十一年から、訪問看護に従事しています。はじめは軽い気持ちで非常勤職員として勤めはじめたのですが、すぐに訪問看護の魅力に取り付かれました。訪問看護は利用者様の生活されているお宅に伺い、その場で看護を開けるため、かなりの応用力が必要とされます。利用者様の身体状況はもとより、治療状況、生活

する利用者様の安全、安心、健康の保持に關っています。いつ、どのようなことに出会うか予測がつかない部分もあり、自分の判断を大きく求められる仕事もあります。その責任の重さゆえ、明確な根拠と正しい判断が必要とされるのです。

私は平成十一年から、訪問看護に従事しています。はじめは軽い気持ちで非常勤職員として勤めはじめたのですが、すぐに訪問看護の魅力に取り付かれました。訪問看護は利用者様の生活されているお宅に伺い、その場で看護を開けるため、かなりの応用力が必要とされます。利用者様の身体状況はもとより、治療状況、生活

環境、ご家族の介護状況を瞬時に判断し、限られた時間の中で次の訪問まで、その方が安全で健康に過ごせるよう生活を整えなければなりません。それだけのアセスメント能力が必要となりすることも多かったです。でもお家に訪問すると利用者様の表情が明るく生き生きとしていて、何より訪問するのを心待ちにされて笑顔で迎えてくださることに、いつもほっとさせられ、本当に嬉しくなるものです。

病院ではいつも忙しく、なかなか一人の患者さんにゆっくり関わっていくことができなかつたのですが、訪問看護では一人の利用者様宅に伺い、決まった時間内はその方とじっくり話し、その方のアセスメントを行い、問題を解決できると喜んでいただけます。その分、達成感や充実感が得られ、看護の力を感じます。そしてこの仕事をしていると、いろいろな場所で多くの方々と連携を図らせていただいております。そんな時に、天使の同窓生の方とお会いするには、とても嬉しいものです。同窓生というだけで、とても安心感があり、良い学校を卒業できてよかったですなあ、と感謝しております。

今後も多くの場面で、たくさんの活躍されている同窓生の方々との出会いを楽しみにしております。末筆ですが、同窓生の皆様のご健康とご健勝をお祈りいたしております。

## 天使大学同窓会 料理教室の活動を通して

栄養学科四回生

熊野千穂

天使大学同窓会十勝支部では、「男子厨房に入ろう!」という題材で、今まで料理を習慣にしてこなかった男性の方を対象に料理教室を開いています。その活動も次回で約四年十回を迎えることになります。

料理教室では、旬や行事に合った内容で奥様やお孫さん等身近な人に作ってあげたくなるような献立を提案しています。参加者さん達には一度来て頂いた方に次回の案内をしている為、何度も来て頂ける方も多く顔見知りのメンバーも増えています。回を重ねるごとに参加者さんの腕も上がっていく親子丼から始まつた献立も自然と高度なものとなり、かつてはお節と昆布からだしをとったり、チャーハン、手作り餃子、だし巻き卵、魚の三枚おろしと本格的な内容にも挑戦していっています。

私が一番印象に残っている献立がおひな祭りです。普段なら「買って食べるものだと思っていた」桜餅が、電子レンジを使うと自分で簡単に出来るものだと分かり「孫にも作ってあげたい」と大好評でした。この回は他にもちらし寿司や鶏のから揚げ



が並び、一人暮らしの方やご夫婦で住まわれている方等は「子どもが大きくなつてからはひな祭りをする機会もなかつたけど良いものだねー」と可愛らしい料理を前に嬉しそうに話していました。帰りには「次も楽しみにしているよ」と声をかけてくれます。このように私達にとっても嬉しい反応が返つてくると、準備に多少の手間はかかっても次の開催の原動力になります。

私もこの料理教室を通じて、様々

なことを体験し学ばせて頂いています。今後も、この活動を通じ私自身も学ばせて頂きながら、参加者さん達にとって有意義な場になるようお手伝いさせて頂きたいと思っていま

す。レシピの作成に携わる際には、インターネットやレシピ本を引用しても実際に試作をしてみてないと自信を持って提供できる内容にならず、手順や分量を正確に分かりやすく文章にして皆さんにお渡しするという責任を感じます。講師として参加者さんの前で調理手順や留意点を説明する際も、伝えたい内容を端的に言葉にして伝える難しさを感じます。参加者さん達の立場になって必要な情報は何かを考えることが分かりやすい説明に繋がることを学びました。これは仕事にも通じることで、栄養指導の際に患者さんはどのようなことを知りたがっているのか、またどのように伝えたら理解して頂けるかを料理教室を通じて経験することができます。新たな気付きに繋がります。

料理教室で、経験豊富な天使大学の先輩たちの力強い助けと参加者さんの温かい雰囲気の中、このような経験をさせて頂けることに感謝しています。



学生と共に（前列中央）

高等學校、時間割、授業や実習など何から何まで初心者マークだった私は、授業開始の鐘が鳴るたびに心

私は卒業後三年で函館に戻り、先輩及び同期の紹介で、思いもかけず女子高校の講師となり、介護福祉士養成教育に携わる事となつた頃のお話をしたいと思います。

私は、授業開始の鐘が鳴るたびに心

それでも何とか理解して欲しい、わざりやすい授業にしたいという思いは次第に伝わつていったのか、生徒達は下手な図だと笑い、自然と大きくなり嬉しい私の身ぶりや表情を真似しては又笑う、「わかった！」の一言は何

みには休む間もなく老人ホームでの現場実習が始まりました。お年寄りと会話は弾むのだろうか？

介護技術は発揮できるのだろうか？ 送り出す方は不安でいっぱい、あの頃私達を臨床実習に送り出して下さった先生方のご心中とちょっぴり共感できた様な気がしました。

しかし愛すべき生徒達は予想を大きく裏切り、すぐにお年寄りに寄り添つて体

調を気づかい、繰り返される同じ話にも笑顔で頷き、「あんたで大丈夫かい？」の問いかには「是非やらせて下さい」と願う姿がそこにはあります。藤谷淑子

臓はドキドキ、教壇に立つと一斉に集まるまっすぐな視線に足はガクガク、実は私はうろたえる性格だったのです。日々失敗しては落ち込み、私だけの夜の反省会と勉強会はほぼ毎日開かれました。それでも何とか理解して欲しい、わざりやすい授業にしたいという思いは次第に伝わつていったのか、生徒達は下手な図だと笑い、自然と大きくなり嬉しい私の身ぶりや表情を真似しては又笑う、「わかった！」の一言は何みには休む間もなく老人ホームでの現場実習が始まりました。お年寄りと会話は弾むのだろうか？ 介護技術は発揮できるのだろうか？ 送り出す方は不安でいっぱい、あの頃私達を臨床実習に送り出して下さった先生方のご心中とちょっぴり共感できた様な気がしました。

しかし愛すべき生徒達は予想を大きく裏切り、すぐにお年寄りに寄り添つて体

調を気づかい、繰り返される同じ話にも笑顔で頷き、「あんたで大丈夫かい？」の問いかには「是非やらせて下さい」と願う姿がそこにはあります。藤谷淑子

臓はドキドキ、教壇に立つと一斉に集まるまっすぐな視線に足はガクガク、実は私はうろたえる性格だったのです。日々失敗しては落ち込み、私だけの夜の反省会と勉強会はほぼ毎日開かれました。それでも何とか理解して欲しい、わざりやすい授業にしたいという思いは次第に伝わつていったのか、生徒達は下手な図だと笑い、自然と大きくなり嬉しい私の身ぶりや表情を真似しては又笑う、「わかった！」の一言は何みには休む間もなく老人ホームでの現場実習が始まりました。お年寄りと会話は弾むのだろうか？ 介護技術は発揮できるのだろうか？ 送り出す方は不安でいっぱい、あの頃私達を臨床実習に送り出して下さった先生方のご心中とちょっぴり共感できた様な気がしました。

しかし愛すべき生徒達は予想を大きく裏切り、すぐにお年寄りに寄り添つて体

臓はドキドキ、教壇に立つと一斉に集まるまっすぐな視線に足はガクガク、実は私はうろたえる性格だったのです。日々失敗しては落ち込み、私だけの夜の反省会と勉強会はほぼ毎日開かれました。それでも何とか理解して欲しい、わざりやすい授業にしたいという思いは次第に伝わつついでいる今行きたいと思いを新たにしている今行きたいと思いつつ、皆様の益々のご発展とご健勝をお祈りして稿を終えたいと思います。

衛生看護科三十二回生

藤谷淑子

## 今も変わりなく

臓はドキドキ、教壇に立つと一斉に集まるまっすぐな視線に足はガクガク、実は私はうろたえる性格だったのです。日々失敗しては落ち込み、私だけの夜の反省会と勉強会はほぼ毎日開かれました。それでも何とか理解して欲しい、わざりやすい授業にしたいという思いは次第に伝わつついでいる今行きたいと思いを新たにしている今行きたいと思いつつ、皆様の益々のご発展とご健勝をお祈りして稿を終えたいと思います。

門学校の学生達にも私らしく伝えて行きたいと思いを新たにしている今行きたいと思いつつ、皆様の益々のご発展とご健勝をお祈りして稿を終えたいと思います。

## 「今、私に出来ること」

栄養科三十二回生

前澤和恵

## 「今、私に出来ること」

昨年は、日本国にとって真価を問われる大変な一年でした。

三月十一日、私はヨガのインストラクターとしてサークル活動をしていました。グラグラと不気味な搖り、演技派による実演で笑いや涙を誘つたりと、一人ひとりの体験が生き生きと表現されました。今では多くの人が介護のベテランとして活躍し、介護の現場を支えています。今では介護・福祉・介護の連携が進んでおり、マンパワーが最も必要とされる現在、物質的な豊かさに比べて、精神面の脆さや人間関係の希薄さを感じる事もありますが、自分が信じる介護への思いに向かってこれからもアプローチしていくたいと思います。

人と人の出会いはすばらしい体験であり、信頼されて感謝できる人になつて欲しい、学生時代の友達は一生の宝物であること等、天使時代に教えて頂いた学びを、今勤務する専

様々な目的を持った方達で活動をし

会いを大切に、サークル活動を続けていきたいと思っています。  
ヨガとは、「結ぶ」という意味で、人と人を結ぶ、人と宇宙を結ぶなど、無理のない動きで深い呼吸とイメージをもって心と身体を統一へと導きます。最初はぎこちない動きの方も、続けることで少しづつ心と身体がほぐれ変化が起きます。表情はみるみる明るく、声のトーンも変わってきます。一人の変化は、他の人へと繋がり、やがてその周りは明るく変わります。生徒の方から「呼吸が深くなりました」「身体が軽くなりました」「子供と夫に優しくなりました」など嬉しい言葉を聞かせていただき、私は思わず手を合わせ合掌し、感謝の気持ちでいっぱいになります。これからもご縁によって結ばれた出

ています。

ヨガは、人との循環・調和・安定などを表します。学校を卒業して人工透析の病院に二年勤務しその後は、まったく違う旅行業界で仕事をして二十数年になります。



## 旅行会社に勤務して

栄養科三十一回生

臼井直美

学校を卒業して人工透析の病院に二年勤務しその後は、まったく違う旅行業界で仕事をして二十数年になります。

私の仕事は、ランドオペレーターという仕事で、扱い地域は、東南アジア・中国・オーストラリアです。

ランドオペレーターの仕事は、よく店頭で日にするパンフレットの企画をすることや、お客様のご希望にあつた日程を細かく作り手配をすることです。例えば、親戚一同集まつての記念旅行に香港に行くことになったとします。

代表者は、まず旅行会社の窓口に行き、相談をしてパンフレットにあるものならそのままパンフレットの内容で手配となりますが、「おばあちゃんの足が悪くて」や、「親戚だけで行動をしたい」などオリジナルな旅に出たいと言う事になつたら、私達オペレーターの腕の見せどころです。

ご希望を聞き、観光場所をじっくり見る日程に直したり「ここに行きたい」という場所を探したり「お



参加者といっしょに（向かって右が本人）

いいものを食べたい」であれば、各地の名物料理をメニューに入れたり。経験と知識を使い日程を組んでいき、そして気に入っていたけたら手配が始まります。

お客様の夢を現実にする仕事といえば聞こえが良いですが、実はこれで苦労が多いのです。

「パンダを見たい」ということで手配した動物園が出発直前に休みだったことが分かったり、観察の依頼を受けてジャガイモ農家を手配したのに、直前に収穫が終わるジャガイモが見ることができなかつたり…

パンダが振り返つてくわえタバコでニタツと笑う夢や…。ジャガイモに手足がついて追いかけてくる夢など…。もしかしたらみなさんの中に私の結構リアルな夢に苦悩する日々です。

企画で旅行をされている方もいるかもしれませんね。

この仕事は、栄養士とはまったく関係がないと思っておりましたが、最近スポーツ選手の遠征試合の手配がとても役に立っています。

ツアーに同行し、試合前には何を食べるのにもおぼえ? の基礎知識がとても役に立っています。

食べてもらうのがよいのか。試合後には、何を補えばいいのか。宿泊が長い場合は、疲れを取れるような食べ物、風邪気味の人の栄養素は?? と、思い出しながら、毎夜遅くまでシェフと打ち合わせをします。

授業をさぼっていなければ:(先生ごめんなさい)と、後悔しながら戦苦闘中です。

旅行は贅沢なものと思われがちですが、気分転換と思い出作りには欠かせないものです。子育て、仕事に疲れた時に、現実から逃避してほつとするのも大事なことです。

帰ってきて「家が一番。」って思うのも不思議ですが、これも大事なことですよね。

がんばっている皆さんへ「旅に出ませんか? きっと素敵なお出来事に出会えるでしょう」

卒業後、仕事に追われる日々ですが、「夢へのご案内」を衰える体力と戦いながら、これからも続けていくと思います。

**支部からの便り…**  
各支部の支部長さんから、活動の報告をいただきました。

## 稚内支部

栄養科十回生

支部長 倉 洋子



まず同窓会支部長として、お詫びをしなければなりません。名ばかりの年月を、どの位続けてしまったでしょうか。本当に申し訳なく思います。私事で忙しい事もありましたが、連絡を取り合う事を怠ってしまいました。天使大の同窓生である事を嬉しく思い、大事にしてきましたが、支部として活動しないまま、又若い年代の方に支部長をバトンタッチする事をしないで過してしまいました。

個人情報保護…となつて、ますます動きが取れなかつた事も事実ですが。名寄以北、稚内市だけでなく、オホーツク海側（枝幸、歌登、浜頓別方面）日本海側（天塩、遠別、豊富方面）そして利尻・礼文、二つの島においての同窓生の皆様、この様な支部長の私ですが、近況などお知らせいただけたらうれしいです。

〒〇九七一〇〇二四  
稚内市宝来二丁目七一十七  
(T・F〇一六二・二三・九九二一四)

助産十一回生・厚生科十三回生

支部長 久原 恵美子

平成二十三年は  
研修の年でした。  
七月三日(日)薬膳＆ギャラリー本  
草で薬膳料理を楽し

みました。二十一名の出席でした。

オーナーの池田繭美さんは薬膳とも関係深いマクロビオテックやハーブ、本格的な中医学をも学ばれたそうです。

当日は特別メニューの三段重ねの

松花堂弁当をいただきました。身近にあるハーブや食材も巧みに使い細やかな心づかいで各々がとてもおいしいお料理になっていました。

最後にデザートもついてたっぷりいただきたのに苦しくない胃の落ち着きが不思議でした。池田さんの師匠の劉秀峰先生のお話を伺う機会も準備して下さり感激でした。

薬膳料理とは日頃から病気にかられないよう配慮して作る料理と伺いぐんと身近に感じました。更に、日々の食卓を整える上でもすぐに役立つ沢山の知恵をいただき文字通り身も心も満たされる充実した研修会でした。平成二十四年度は六月二十四日(日)丸山学長、稻葉同窓会会长にご出席いただく予定です。関東支部の皆様、会報でもご案内いたしますがぜひ会場で逢いましょう。

衛看科二十四回生・専攻科九回生

関東支部長 椎名 喜美江

## 関東支部

「すずかけの樹」の発行と総会の開催です。会報は新会員の情報が入手できず一年間で二百部程発送数が減少し、年間千円の会費の納入も年々先細り状態で会員の皆様の寄付でやりくりしています。総会は六月に丸山学長をお迎えし代官山のおしゃれなレストランを借り切って五十六名出席の楽しい集いでした。丸山先生から

最近の学校の様子や抱えている問題などをお話しいただき同窓会も母校のために何かお役に立たねばという思いを新たにしました。美味しいフランス料理と懐かしい再会、そして飛び入りでフラダンスを披露して場を盛り上げていただき盛会でした。大震災から三ヵ月余り犠牲になられた方々のために心を合わせてお祈りを捧げました。



## 支部長さんからのお願い!!

各地にある同窓会の支部にどうかご参加ください。支部の所在地につきましては、支部長一覧を参照してください。

### 同窓会支部長名

※同窓生の皆さんで支部所在地にお住まいの方、連絡を待っています。

支部名	卒・回	支部長名	〒	住 所	☎
関 東	衛看24・専攻9	椎名 喜美江			
関 西	厚 生 15	上林 文子			
函 館	栄 養 10	鈴木 みのり			
旭 川	助産11・厚生13	久原 恵美子			
十 勝	衛 看 28	宮坂 陽子			
稚 内	栄 養 10	倉 洋子			
釧 路	厚 生 19	箴井 敦子			

プラタナス発行後に変更があった支部におかれましては、早急にご連絡ください。支部長名簿を変更させて頂きます。(係)

**平成23年度**

# 天使大学同窓会総会報告

## ■審議事項

◎平成二十三年度事業計画（案）

・例年の事業の継続

・東日本大震災義援金

・奨学生事業の検討、奨学生検討委員会の開催

◎平成二十三年度予算（案）

◎同窓会会則改正について（附則部分のみ）

・附則に同窓会発足当時の記載がないため、金融機関に会則として認めてもらはず、名義変更、振込み等ができない。附則の部分を変更する。

二〇一一年四月十六日（土）、札幌全日空ホテルにおいて、会則第十六・十七条に基づき、平成二十三年度総会を左記のとおり開催いたしました。また、総会終了後、懇親会も同ホテル内で行いました。

## I 総会

・日時 平成二十三年

四月十六日（土）

・時間 十時～十二時四十五分

・会場 白楊の間

・出席者 代議員十七名（委任状提出者十名）

一般会員 五十八名  
役員・委員 二十三名

定刻、野原副会長の開会宣言、その後城会長、丸山知子天使大学学長からあいさつがあつて、議長・副議長の選出と進行しました。

### 〔提案どおり了承〕

- ・新会員への記念品・弁当贈呈
- ・大学行事へのスタンンドフラワー、
- ・祝電、飲料等の寄贈
- ・合唱コンクールへ審査員派遣

- ・大学行事へのスタンンドフラワー、
- ・泳部

- ・フィリピン・バギオへの奨学生金

- ・助成

議長 栄養科十一回生 古川淳子氏

副議長 栄養科十六回生 渡部邦子氏

◎平成二十二年度会計報告

◎平成二十二年度会計監査報告

## II 懇親会

・時間 十三時～十五時

・会場 白樺の間

出席者 五十八名



今回の懇親会では、在学当時に『アンジュアンサンブル』で活躍された栄養科十九回生のお二人が、現在所属されている『小樽サロンドマンドリー』の方々に演奏会をお願いしました。『スワニー』『千の風になつて』『黒い瞳』等々、マンドリンの素敵な音色に聞き入ってしました。『アンジュ』に所属されていた方々も多数参加してくれました。皆様、学生の頃に戻つて先輩後輩入り交じり、昔話で盛り上がった会となりました。

**平成22年度一般会計収支決算書**  
自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日

**【収入の部】**

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	摘 要
<b>前年度繰越金</b>	5,630,779	5,630,779		
<b>1. 会 費 収 入</b>				
①入 会 金	10,700,000	10,600,000	100,000	平成22年3月卒業生(212人分)
②維 持 会 費	1,010,000	1,201,880	△191,880	1,192人分 ※一般会計への未払金(10,000)を含む
<b>2. 福祉委員会収入</b>	250,000	288,422	△38,422	タキさんの店・バザー
<b>3. 寄 付 金</b>		83,000	△83,000	維持会費過払い・有志から
<b>4. 受 取 利 息</b>	3,000	2,244	756	
<b>5. 雜 収 入</b>	5,000	4,450	550	
<b>合 計</b>	17,598,779	17,810,775	△211,996	

**平成22年度一般会計収支決算書**  
自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日

**【支出の部】**

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	摘 要
<b>1. 事 業 支 出</b>				
①庶 務 委 員 会	100,000	74,828	25,172	
②会 計 委 員 会	100,000	54,253	45,747	
③広 報 委 員 会	200,000	195,904	4,096	
④会 員 組 織 委 員 会	150,000	51,080	98,920	
⑤研 修 委 員 会	50,000	13,140	36,860	
⑥福 祉 委 員 会	250,000	226,671	23,329	
⑦事 業 委 員 会	100,000	0	100,000	
<b>2. 一 般 管 理 支 出</b>				
①総 会 費	700,000	584,687	115,313	会場費・講演会講師謝礼等
②会 報 誌 発 行 費	2,000,000	1,455,644	544,356	6,800部発行 6,519部発送
③ク ラ ス 幹 事 通 信 助 成 費	200,000	17,820	182,180	
④同 窓 会 入 会 式 費	600,000	389,882	210,118	記念品(印鑑付ボールペン)祝い弁当
⑤会 議 費	50,000	24,005	25,995	
⑥奨 学 金 判 定 委 員 会 費	20,000	2,514	17,486	
⑦代 議 員 会 費	100,000	10,990	89,010	
⑧常 任 理 事 会 費	70,000	49,861	20,139	10回開催(交通費等)
⑨理 事 会 費	200,000	260,280	△60,280	10回開催(交通費等)
⑩役 員 候 擇 推 薦 ・ 選 举 委 員 会	100,000	48,593	51,407	
⑪通 信 費	300,000	193,581	106,419	電話代・切手代
⑫交 通 費	50,000	75,980	△25,980	ク ラ ス 幹 事 交 通 費
⑬消 耗 備 品 費	200,000	139,791	60,209	
⑭慶弔 弔 費	100,000	90,105	9,895	
⑮支 払 報 酬 費	200,000	135,790	64,210	アルバイト代
⑯デ ィ ー タ ベ ー ジ 料 球 管 理 費	150,000	111,650	38,350	
⑰選 举 広 報 誌 発 行 費	1,200,000	1,150,394	49,606	6,600部発行 6,519部発送
⑱雑 費	20,000	1,903	18,097	
⑲使 用 料	300,000	300,000	0	同窓会室・調理実習室
<b>3. 寄 付 金 支 出</b>				
①寄 付 金(バギオ)	150,000	288,422	△138,422	
②助 成 金(大学クラブ)	300,000	101,897	198,103	全国大会出場助成・体育祭時飲み物
<b>4. 積 立 金 支 出</b>				
事 業 準 備 積 立 金	3,000,000	6,000,000	△3,000,000	
<b>5. 名 簿 発 行 費 支 出</b>	3,000,000	0	3,000,000	
<b>6. 未 払 金</b>	2,376,271	2,226,271	150,000	特別会計Ⅱへの未払金(卒業延期者)
<b>7. 予 備 費</b>	1,172,508	0	1,172,508	
<b>合 計</b>	17,508,779	14,275,936	3,232,843	

(次年度繰越金) = 当期収入合計 - 当期支出合計

$$17,810,775 - 14,275,936 = 3,534,839$$

※次年度繰越金の中に①特別会計Ⅱへの未払金150,000円を含む

②特別会計Ⅱへの未払金100,000円を含む

**平成22年度特別会計収支決算書**  
自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日

**【収入の部】**

(単位:円)

科 目	特別会計I(奨学金)	特別会計II(前受金)	摘要
前年度繰越金	5,139,662	39,497,978	
1. 会費収入 ①前受け金		9,700,000	平成22年度入学生 @50,000×194人分
2. 繰入金収入 ②貸付金返金	320,000	一般会計からの未収金 2,226,271	
3. 雑収入 ③受取利息	1,010	37,423	
合 計	5,460,672	51,461,672	

**【支出の部】**

(単位:円)

科 目	特別会計I(奨学金)	特別会計II(前受金)	摘要
1. 前受金支出 ①入会金 ②退学者返金		10,600,000 500,000	(平成18年度入学生212人分) 平成22年度一般会計へ 10人分
2. 貸出金支出 ①奨学金貸付	240,000		
3. 雑費 ③振込手数料	840		
合 計	240,840	11,100,000	

(次年度繰越金)=収入総額-支出総額

【特別会計I】 5,460,672 - 240,840 = 5,219,832

【特別会計II】 51,461,672 - 11,100,000 = 40,361,672

※一般会計への未払金 600,000円を含む

※一般会計からの未収金150,000円を含む

**一般会計財産目録**

平成23年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
資産の部			
流動資産			
現金	345,857		
預貯金			
北洋銀行普通預金	3,188,982		
郵貯銀行振替口座	2,397,500		
流動資産合計		5,932,339	
固定資産			
北洋銀行定期預金(事業積立金)	28,064,429		
固定資産合計		28,064,429	
資産合計			33,996,768
負債の部			
流動負債			
未払金 ①特別会計II(前受金)	150,000		
固定負債			
負債合計		0	
正味財産			150,000
			33,846,768

※正味財産の中に特別会計IIへの未払金100,000円を含む ※事業積立金の定期預金に当期中の利息14,564円が付いている

**平成23年度一般会計予算**  
自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日

**【収入の部】**

(単位:円)

科 目	前年度予算額	23年度予算額	増 減 額	摘要
前年度繰越金	5,630,779	3,534,839	2,095,940	
1. 会費収入				
①入会金	10,700,000	9,650,000	1,050,000	平成23年3月卒業生193人分
②維持会費	1,010,000	1,000,000	10,000	(卒業延期者3人分を含む)
2. 福祉収入	250,000	250,000	0	タキさんの店・バザー等売上げ
3. 受取利息	3,000	2,000	1,000	
4. 雑収入	5,000	3,000	2,000	
合 計	17,598,779	14,439,839	3,158,940	

**平成23年度一般会計予算**  
自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日

**【支出の部】**

(単位：円)

科 目	前年度予算額	23年度予算額	増 減 額	摘要
<b>1. 事 業 支 出</b>				
①庶務委員会	100,000	100,000	0	
②会計委員会	100,000	100,000	0	
③広報委員会	200,000	200,000	0	
④会員組織委員会	150,000	100,000	50,000	
⑤研修委員会	50,000	100,000	△50,000	
⑥福祉委員会	250,000	250,000	0	材料費・支援会員交通費
⑦奨学金委員会	100,000	100,000	0	
<b>2. 一 般 管 理 支 出</b>				
①総会費	700,000	700,000	0	会場費・交通費・講師謝礼・懇親会
②会報誌発行費	2,000,000	2,000,000	0	「ふらたなす」発行料・発送費
③クラス幹事通信助成費	200,000	100,000	100,000	
④同窓会入会式費	600,000	500,000	100,000	記念品(バッヂ・印鑑付ボールペン)
⑤会議費	50,000	50,000	0	定期会議以外の開催会議費
⑥奨学金判定委員会費	20,000	20,000	0	会議費・交通費等
⑦代議員会費	100,000	100,000	0	会議費・交通費等
⑧常任理事会費	70,000	100,000	△30,000	会議費・交通費等
⑨理事會費	200,000	200,000	0	会議費・交通費等
⑩役員候補推薦・選挙委員会	100,000	100,000	0	
⑪通信費	300,000	300,000	0	電話・パソコン管理費
⑫交通費	50,000	100,000	△50,000	行事参加時等の交通費
⑬消耗備品費	200,000	200,000	0	事務用品・コピー用紙等
⑭慶弔弔費	100,000	100,000	0	大学行事の花代・祝電・会員の弔電
⑮支払報酬費	200,000	200,000	0	謝礼・アルバイト代
⑯データベース管理費	150,000	150,000	0	
⑰雑費	20,000	20,000	0	
⑱使用料(室料)	300,000	300,000	0	同窓会室10万・調理室20万
<b>3. 寄 付 金 支 出</b>				
寄付金(バギオ)	150,000	250,000	△100,000	
<b>4. 助 成 金 支 出</b>				
大学クラブ助成金	300,000	300,000	0	クラブ大会出場助成・体育祭時飲物
<b>5. 積 立 金 支 出</b>				
事業準備積立金	3,000,000	5,000,000	△2,000,000	
<b>6. 未 払 金</b>	2,376,271	150,000	2,226,271	(特別会計Ⅱへ卒業延期者3人分)
<b>7. 東日本大震災義援金</b>		1,274,880	△1,274,880	平成22年度維持会費・寄付金収入
<b>8. 予 備 費</b>	1,172,508	1,274,959	△102,451	
<b>合 計</b>	13,308,779	14,439,839	△1,131,060	

**平成23年度特別会計予算**  
自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日

**【収入の部】**

(単位：円)

科 目	特別会計Ⅰ(奨学金)	特別会計Ⅱ(前受金)	摘要
<b>前年度繰越金</b>	5,219,832	39,911,672	
<b>1. 会 費 収 入</b>			
①前受け金		10,000,000	平成23年度入学生 @50,000×200人分
<b>2. 繰 入 金 収 入</b>	360,000	100,000	一般会計からの未収金
<b>3. 雜 収 入</b>	1,000	30,000	
<b>合 計</b>	5,580,832	50,041,672	

**【支出の部】**

(単位：円)

科 目	特別会計Ⅰ(奨学金)	特別会計Ⅱ(前受金)	摘要
<b>1. 前 受 金 支 出</b>			
①入会金		9,500,000	平成22年度卒業生(190人)
②退学者返金		100,000	2人分
<b>2. 貸 出 金 支 出</b>	240,000		
①奨学金貸付			
<b>3. 雜 費</b>	840		
<b>③振込手数料</b>			
<b>合 計</b>	240,840	9,600,000	

**特別会計I(奨学金)財産目録**  
平成23年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
資 産 の 部		
流 動 資 産		
預 貯 金	5,219,832	
北洋銀行普通預金		
流 動 資 産 合 計	5,219,832	
資 産 合 計		5,219,832
負 債 の 部		
流 動 負 債		
固 定 負 債	0	
負 債 合 計	0	
正 味 財 産		5,219,832

**特別会計II(前受金)財産目録**  
平成23年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
資 産 の 部		
流 動 資 産		
北洋銀行普通貯金	10,168,831	
流 動 資 産 合 計	150,000	
未 収 金 (平成17・18年度卒業延期者3人分)		
固 定 資 産		
北洋銀行定期貯金	30,192,841	
固 定 資 産 合 計		
資 産 合 計	30,192,841	
負 債 の 部		
流動負債(一般会計への未払金) ※退学者12人分の返還金	600,000	
固 定 負 債		
負 債 合 計	0	
前 受 金		
①平成19年度入学生(193人)	9,650,000	
②平成20年度入学生(207人)	10,350,000	
③平成21年度入学生(199人)	9,950,000	
④平成22年度入学生(194人)	9,700,000	
前 受 金 合 計	39,650,000	
卒業延期者3人分含む		
正 味 財 産		39,911,672

※普通預金・定期預金に利息261,672円が付いている

## 備品報告書 平成23年3月31日現在

備 品	個 数
銀 行 印	1
会 長 印	2
選挙管理委員長印	1
電 話(親子)	1
パ ソ コ ン	3
プリンター／コピー／FAX機	1
耐 火 金 庫	1
鍵 付 書 棚	2
鍵 付 机	2
冷 藏 庫	1
ロ ッ カ ー	2
整 理 タ ン ス	1
食 器 棚	1

# 平成24年度同窓会総会・講演会・懇親会のお知らせ

●会場——札幌全日空ホテル（札幌市中央区北3条西1丁目 ☎011-221-4411）

●日時——平成24年4月21日（土）

●受付——9:30～

●講演会——10:00～11:00（3階 鳳の間）

## 頑張らないスポーツのススメ ～マイペースの健康づくり～

講 師 侘 美 靖 先 生

北海道文教大学健康栄養学科教授 健康運動指導士

「太ったから歩くの？ 太らないように歩くの？」

「健康の価値」と身体的な活動不足がもたらす影響を確かめながら、運動やスポーツを生活に取り入れた活動的なライフスタイルの視点から「健康づくり」を考えます。

自らの身体的特性や生活習慣を振り返り、楽しみながら続けられる「マイペースの健康づくり」を提案します。

●総会——11:15～13:00（3階 鳳の間）

●懇親会——13:15～14:45（3階 祥雲の間）

会 場 祥雲の間（3階）

会 費 3,500円 当日、受付にてお支払いください。

●参加申込み——3月31日（土）必着で、同封のハガキにてお申込みください。

※ 申込み後の取り消しは、4月13日（金）までにお願いします。（連絡先 090-9516-7402）

その後の取り消しの場合は、後日会費を頂戴いたしますのでご了承ください。

**※当日の参加申込みはご遠慮ください。**

### バザーのお知らせ

天使大学祭は平成24年6月15日（金曜日）16日（土曜日）に開催されます。同窓会のバザーは16日（土曜日）です。同窓生の多数のご来場をお待ちしております。

年度始めの総会には、どうかご多忙とは思いますが、ご出席いただきまして、貴重なご意見をお聞かせ頂ければと思います。

各ブロックから選出された代議員さんが、総会に出席され、十分な討議をされることにより、同窓会の方向性や活動内容の充実がはかられるのだと思います。

代議員の皆さんへのお願い

## 受賞おめでとう ござります

瑞宝単光章

看護科二十一回生

宮川純子様

### 図書館からのお知らせ

同窓生有志の方々（現在は澤田園江様、坂本浩子様）が、長く図書館業務のお手伝いをしてくださり、館員一同、心から感謝しております。

また、卒業生の皆様には当館をご利用いただきることができます。ホームページなどでご案内をしておりますので、ご覧の上、どうぞご利用ください。

天使大学図書館

電話 ○一一一七四一一〇五一  
(内線一二二三)

### 求人情報ご提供の 依頼について

天使大学は今年三月、第九回卒業生を社会に送り出しますが、卒業予

定者のうち就職希望者の二月十九日現在での内定率は、看護学科九六・三%、栄養学科七〇・七%となっています。

さらに就職希望者の大半が専門職への従事を希望しておられます。

当就職委員会では、在学生の就職支援と共に、卒業生で転職希望者への就職支援も行っておりますので、有効に活用していただきたいと思います。

なお、求人情報等をお持ちの場合、是非当就職相談室にお寄せください

ますようお願い致します。

就職相談室の電話番号は次の通りです。なにとぞよろしくお願ひ致します。

（小林良子）

電話 ○一一一七四一一〇五  
FAX ○一一一七四一一〇七七

### 会員のおぐやみ 心よりご冥福をお祈りします

作田幸子様  
平成二十一年十月十五日逝去  
栄養科八回生

上田ゆり様  
平成二十二年五月十一日逝去  
看護科二十一回生

川真弓様  
平成二十二年十月十五日逝去  
厚生科八回生

岩淵玉枝様  
平成二十三年二月十日逝去  
栄養科二回生

### 弔電費の負担

同窓会を代表して弔電を打つ場合は、二〇〇〇円を同窓会で負担致します。弔電の差出人名は必ず「**天使大学同窓会**」と明記してください。  
領収書を同窓会会計宛に郵送ください。

伊黒寿子様  
平成二十三年三月二十二日逝去  
栄養科三回生

武田由利子様  
平成二十三年四月十一日逝去  
栄養科十二回生

野崎信子様  
平成二十三年六月二日逝去  
栄養科八回生

山村玲子様  
平成二十三年八月二十七日逝去  
厚生科一回生

鶴岡美香様  
平成二十三年九月二十一日逝去  
栄養科四十二回生

栗村敏子様  
平成二十三年十月二十六日逝去  
栄養科三十八回生

魚住久枝様  
平成二十三年十一月十一日逝去  
栄養科四十一回生

鈴木美貴子様  
平成二十三年十一月十八日逝去  
栄養科四十一回生

木村智子様  
平成二十三年六月二十六日逝去  
栄養科八回生

間野英子様  
平成二十三年六月二日逝去  
栄養科四十一回生

同窓会事務局への  
ご連絡について

同窓会室には、週一回、パート職員が勤務しておりますが、不在の場合は、左記連絡方法にて、ご氏名・連絡先をお知らせください。後日、こちらからご連絡させていただきます。  
なお、住所の変更は、同窓会ホームページからご連絡いただけますので、そちらの方もご利用ください。

電話／FAX ○一一一七一一一〇八八  
メールアドレス tenshi\_dousoukai@ybb.ne.jp  
(http://www.tenshi-dousoukai.org/)

### 編集後記

前任者の緊急降板と言ふ、思がけないかたちでタスキを受け取ったわけですが、同窓生の方々の社会貢献に対する意識の高さ、相手を思い遣る心、集まり散じて人は代われば天使の原点が不变であることを再認識致しました。

お忙しい中、快く私どもの要望に応えて原稿を頂き編集にご尽力頂きました同窓生の皆様、さらには様々な面でご協力頂きました学校関係の方々をはじめ、多くの方々に心より感謝しお礼を申し上げて編集後記とさせて頂きます。

広報部 広報委員  
栄養科三十一年回生  
西村和美